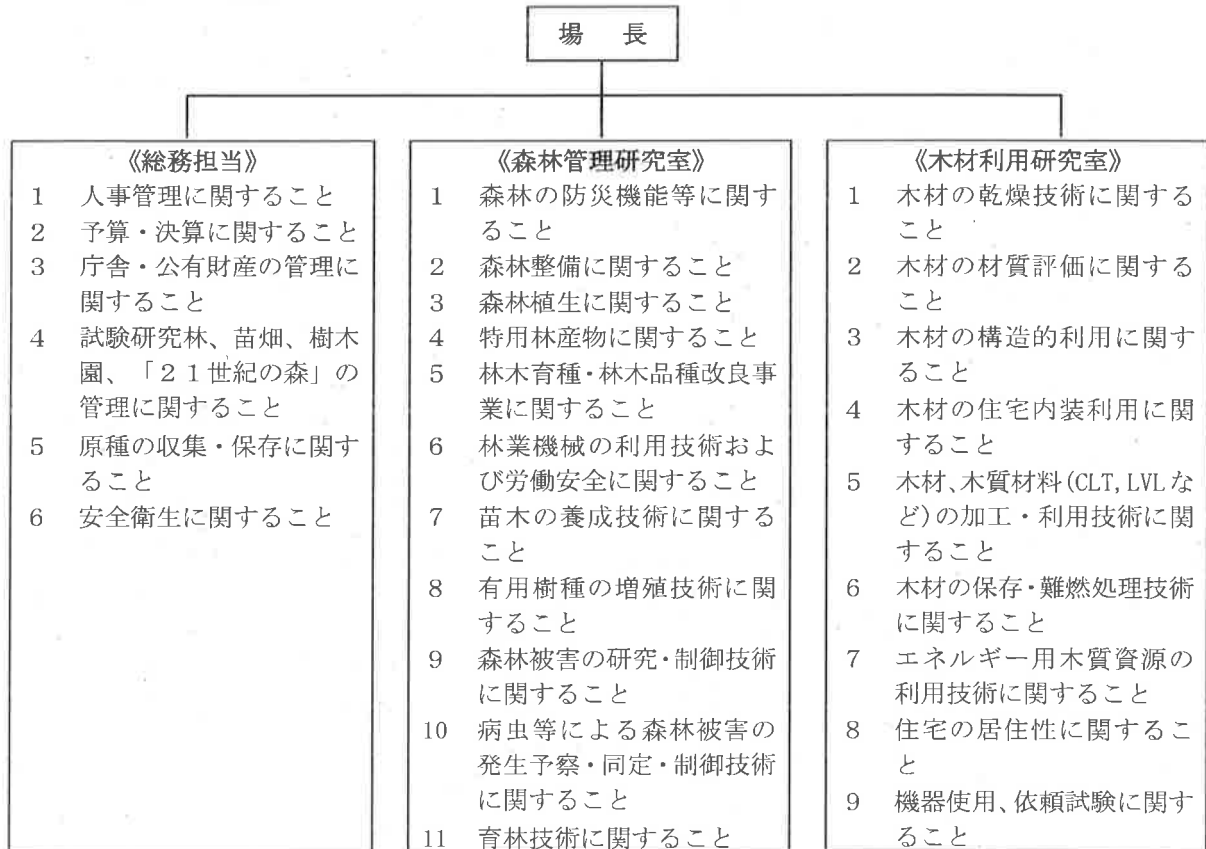


I 沿革

- 昭和30年9月 鳥取市立川町6丁目(旧練兵場跡地)に鳥取県林業試験場(庶務係・施業部・改良部の3部制)として開場する(全国で21番目の公立林業試験場)。
- 昭和34年4月 施業部を経営部に、改良部を造林部に改称する。
- 昭和37年9月 部制を科制に改称し、1係2科制となる。
- 昭和45年4月 係制を課制に改称し、総務課、経営科、造林科の1課2科制となる。
- 昭和50年4月 林木品種改良事業を造林課より当場に移管する。
- 昭和51年4月 育種科を新設し、総務課、経営科、造林科、育種科の1課3科制となる。
- 昭和55年4月 保護科を新設し、総務課、経営科、造林科、育種科、保護科の1課4科制となる。
- 昭和55年6月 林業試験場を八頭郡河原町稲常(現鳥取市河原町稲常)へ新築移転する。
- 平成7年4月 科制を室制に改称し、総務課、森林造成研究室、林業生産研究室、森林管理研究室木材加工研究室の1課4室制となる。
- 平成7年10月 木材加工研究棟を新設。
- 平成17年4月 森林管理研究室、木材利用研究室の2研究室制となる。
- 平成18年4月 農林水産部内に農林総合技術研究院が新設され、総務課が総務普及課となる。
- 平成20年4月 農林総合技術研究院が農林総合研究所となり、林業試験場は農林総合研究所林業試験場となる。併せて総務普及課が農林総合研究所企画総務部に統合される。
- 平成26年4月 農林総合研究所体制の再編。各試験場は本庁所管課の地方機関とされ、林業試験場は農林水産部林政企画課の傘下となる。
- 平成29年3月 「とっとり林業技術訓練センター『愛称：Gut Holz』」新設。
- 平成30年3月 「木材環境研究棟」新設。
- 平成31年4月 とっとり林業技術訓練センター、木材技術工芸実習館、森林学習展示館の管理が指定管理者に移行。

II 機構 (令和3年4月1日現在)

1 組織・主な業務



2 職員数

(1) 職員配置状況

(令和3年4月1日現在)

区分 課・室名	事務 職員	技術 職員	現業 職員	計	会計年度 任用職員	備考
場 長		1		1		
総務担当	1		1	2	1	
森林管理研究室		6		6	11	
木材利用研究室		5		5	2	
計	1	12	1	14	14	

(2) 職員一覧表

(令和3年4月1日現在)

課・室名	職名	氏名
	場 長	村上 哲朗
総務担当	課長補佐	井上 加奈子
	現業職長	玉木 操
森林管理研究室	室 長	山増 成久
	上席研究員	池本省 吾
	上席研究員	矢部 浩
	主任研究員	下田 直輝
	主任研究員	三浦 功次
木材利用研究室	研究員	滝田 茉衣子
	室 長	小松 利行
	主任研究員	森田 浩也
	主任研究員	桐林 真人
	研究員	佐々木 裕介
	研究員	岡本 瑞輝